



こんにちは 和田あき子です



農政委員会

Q 気候変動の影響があり、今年3月下旬の温かさで果樹などの生育が進みました。そして4月以降の開花期に氷点下の低温、霜による凍霜害は6月時点で被害額23億円を超える甚大な被害になっています。さらに被害状況をつかむこと、生産者支援の拡充を求めました。

A 県は市町村が実施した支援に対して助成を検討すると答弁。

Q 長野県の特産である「あんず」が果樹共済の対象品目ではないことから、果樹共済の対象品目に加えるよう求めました。

A 県としてはH25年に追加の検討を求めたが、長野県と青森県が全国の99%を占めているため断念した経過があると答弁。

※あんずが県の特産品であることを裏付けるもので、県独自で共済を検討するよう要望。

林務委員会

信州F・パワープロジェクトは阿部知事が「森林県」から「林業県」を掲げ、県や国が約24億円の補助金を入れ、塩尻市や県内企業の支援を取り入れた一大プロジェクトです。「大規模製材工場」と「バイオマス発電事業」が2本柱と位置付けられています。

電事業が発電計画を大幅に下回っていることへの質問。

さらに私が、大規模な製材事業によって木材の提供がされているか。製材事業からどのくらいバイオマス燃料が出されているかと質問したことに「民間企業の経営にかかわる」の一辺倒。ゼロ回答状態でした。

委員会では、他の委員からもバイオマス発

委員会を終えて

信州F・パワープロジェクトについて、共産党県議団は計画当初からバイオマス発電事業の規模が大き過ぎると指摘をしてきました。巨額の公金が投資されている事業を

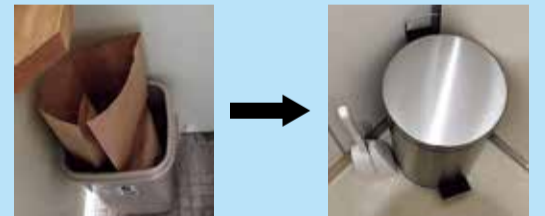
「民間企業の経営」の一点張りですべての情報を出さない県の姿勢を、今後も質していきます。



凍霜害被害の調査
花や実がほとんどやられた畑も。この4年間で3回も被害にあった地域もあり、本格的な支援が必要です。(長野市豊野 5月14日)

県立高校のトイレに サニタリーボックスを！

県立高校のトイレはまだ和式便器が多くあり、洋式化が遅れています。さらに高校生から「使用済みの生理用品を蓋のないポリバケツに捨てている」と声を聞きました。6月議会前の知事申入れで高校トイレの現状を話し、さっそくサニタリーボックスが置かれました。



長野市七二会・中条の現地調査 現場の声を建設事務所などに要望



昨年の災害復旧工事が進んでいない県道地域住民と視察、建設事務所に工事の早期着手を要望(七二会)



砂防堰堤周辺に折り重なる倒木(中条)

県民要求実現へ全力でがんばります

日本共産党県議団は6人になり、交渉会派で代表質問もできるようになりました。



- 山口典久議員 各所属委員会が左記のように決まりました(写真順)
- 毛利栄子議員 総務企画警察副委員長
- 藤岡義英議員 産業観光企業委員
- 危機管理建設委員
- 決算特別委員
- 和田明子議員 農政林務委員
- 少子化・人口減少対策調査特別委員
- 高村京子議員 県民文化健康福祉委員
- 広報委員
- 両角友成議員 環境文教委員長
- 議会運営委員

日本共産党県議会報告

No 1 2023年8月 【2023年6月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行/日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

